

Weekly Report 2022-2023



創 立 1969年4月14日
認 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 I T・広報委員会

会長：遠藤直樹 / 幹事：鈴木雅博 / 会長エレクト：磯崎裕祐 / 副幹事：吉岡哲哉 / S.A.A：吉本委子

今週のプログラム	第 2556 回	5 月 12 日
卓話「水戸南ロータリークラブについて」野口一臣会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2555 回	4 月 28 日
客話：「私が挑戦する理由」永原いさよ 様・安宅伽織 様		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松



遠藤会長挨拶

・皆様こんにちは。昨日のニュースでは政府が正式に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを5月8日より現行の「2類」から「5類」に移行と発表されました。
インフルエンザと同等になります。また明日からゴールデンウィークに入りますが混雑を避ける為に外国人に向けての水際対策も前倒しで緩和されるとのことです。3年半掛かってやっと落ち着くみたいです。
早く元のようにどんどん人が往来して活気のある社会に戻って欲しいものです。

鈴木幹事報告

- ・ロータリーの友5月号がきております。
- ・デリバリーアーツ2023の協力団体募集の案内がきております。
- ・次回の例会は5/12(夜例会)になります。

磯崎次期会長より

- ・次年度の理事会メンバーでFSMをしました。
加筆修正した内容を西RCのホームページでアップする予定です。

吉岡次期幹事より

- ・各委員の方は5月中に活動計画書を提出お願いします。

次年度55周年実行委員長木内会員より

- ・4/24に実行委員会で集まりおおまかなところの報告を5/12の例会でお知らせします。

出席報告		出席委員長：大西一正	
会員数 /	40名	出席規準数 /	37名
出席者数 /	17名	欠席者数 /	20名
出席率 /	45.95%	ビジター /	0名
最終出席率 /	4月15日 60.53%	→	68.42%

メイクアップ

- 4月23日 2720 Japan O.K. ローターリーEクラブ 大島
- 4月25日 高松東RC 堀井
- 4月26日 高松南RC 低田



5月12日 今日は何の日	今日生まれの有名人
ざりがにの日/ナイチンゲール・デー 1934年 ラジオ初の海外実況中継 1948年 母子手帳配付開始	1965年 奥田民生 1952年 風吹ジュン 1949年 萩尾望都 1903年 草野心平 1885年 武者小路実篤 1820年 ナイチンゲール
誕生花	苧環(オダマキ)、花言葉は“勝利の誓い”
誕生石	トルマリン(tourmaline)、宝石言葉は“素直な心”

我々の生業
我々の生業さまざまなかれど 集いて凶る心は一つ 求るところは平和親睦 力るところは向上奉仕 おおロータリアン 我等の集い

ニコニコBOX

早退	1件
合計 1 件	
本日 の 合計	500 円
2022-2023 年 度 累 計	680,000 円

雑誌委員会より

- 3 -

雑誌委員会委員長 石川洋介

雑誌委員会より1月号の注目すべき記事を合わせてご報告させていただきます。



まず、1月号の4頁に、職業奉仕講演会における日経新聞社のコメンテータの村山恵一氏の「人間とAIが共生する職業の近未来のカタチ」と題しての講演要旨が掲載されています。

過去にはロボットが導入されると人の仕事が無くなってしまわないか、といった極端な議論があったが、実際にロボットが導入された職場では生産性が高まり、会社の事業拡大に繋がり雇用が増えたといった事例が報告される様になり、人工知能が人の雇用を奪うといったごく単純な、悲観的なシナリオは過去のものになりつつあるのではと報告されております。また、スマホには文字起こしの機能が搭載されており、マイクで捉えた話言葉がリアルタイムで書き起こされ、これにより今まで書き起こしに費やしていた時間を別の作業に充てることができるが、一方、AIが危うさを秘めた道具であることは否定できずあくまでも道具として使いこなす視点が不可欠であると述べておられます。

15頁に「花壇」のコーナーに、高松RCの平峯千春様の作品が掲載されております。

ゴルフ同好会報告

・4月29日に高松グリーンRCさんと合同のゴルフコンペが鮎滝カントリークラブでありました。

当クラブからは6名が参加しました。個人戦の結果は高松グリーンRCの石橋さん親子の1、2フィニッシュでした。

また上位4人の対抗戦ですが前は僅差の敗北でしたが、今回は大差をつけられて敗北でした。次回こそ勝利出来るように練習あるのみ。頑張りましょうね。



RI会長からのメッセージ（5月）



2022-23年度国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

「世界を変える行動人」と共感の心

今こそ、勇気を持った、積極的なリーダーシップが必要とされている時であると私は確信しています。

先月の会長メッセージでは、私の大切な友人、アニエラ・カラセドさんのストーリーを紹介しました。彼女はロータリーファミリーの素晴らしい一員であり、元インテナーアクター、そして現在はロータリアンとして、まさにこのようなリーダーです。

アニエラさんは、パニック障害を乗り越えた体験談を共有してくれました。実は私も同じ経験をしています。彼女のストーリーに対する大きな反響は、人はお互いの強さだけでなく、弱さも認め合うことがいかに重要であることを示しています。お互いの居場所を見つけるために私たちが語り合うのは、ロータリーの中で「居心地のよさと配慮」を創り出すためです。私たちの言うクラブでの体験とは、私たち皆がアニエラさんが体験したような心地よさを感じることができ、皆が共感しお互いを支え合う場となることなのです。私たちが人生で直面していることが何であれ、ロータリーの中では、私たちは独りではありません。

私たちは、ポリオ根絶や環境保護を進め、支援を必要とする地域社会に希望をもたらすなど、世界に手を差し伸べることに多くの時間を費やしています。一方で私たちは、奉仕活動の仲間である他の会員やパートナーに対しては、いたわりや思いやりを傾ける必要がある、ということをお忘れがちです。

会員にとっての「居心地のよさと配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最良の方法であり、会員維持の最善の手段です。これを最優先事項とし続けていく必要があります。加えて、メンタルヘルスのための治療に対する偏見をなくし、ケアへのアクセスを拡大するような奉仕活動を行うことで、互いの絆を深めていくことができます。ですから、ゴードン R. マッキナリーRI会長エレクトが、ロータリー会員だけでなく、私たちが奉仕する地域社会のためにも、世界中でメンタルヘルスのシステムを改善したいという素晴らしいビジョンを示したことを、うれしく感じています。

今年の国際協議会で、ゴードンさんがメンタルヘルスに焦点を当てることを発表した時、他者を支援することで、私たち自身のストレスも軽減され、気分が良くなるということをお知らせしてくれました。研究によると、親切な行為を行えば、自分自身の精神的・肉体的健康を改善する効果があることが証明されています。奉仕は世界に希望を、私たちの生活には喜びをもたらします。

今度、メンタルヘルスについて活動していくにあたって、着実に進めていくためには時間がかかりますが、118年間にわたって私たちの成してきたことの一部を発展させればよいのです。私たちは、「世界を変える行動人」であり、その行動の裏には配慮、思いやり、共感、インクルージョンがあります。メンタルヘルスの問題に取り組んでいくことは正しく、大切であるだけでなく、ゴードン会長エレクトの次年度のテーマである「世界に希望を生み出そう」を実践していく方法でもあります。会員に奉仕することは地域社会に奉仕することです。人々に歩み寄って力を貸すことで、人々はロータリーを新たな光として「イマジン」し、ロータリーの価値と無限の可能性を真に理解してくれるでしょう。

次週のプログラム

第 2557 回

5 月 20 日

5 月 20 日 地区大会に変更

担当者 プログラム委員会

例会場 レクザムホール